

みんなで大豊町を
「有機の里」にしよう！
大豊町は今、
若い有機栽培農家が元気です



「雲海を見下ろす大豊町の棚田」

就農までの流れ

受入農家で丁寧な指導を行います

就農相談
（応募・体験研修）

受入農家決定

受入農家が決まらなかった場合

農家研修（1年～2年）

有機栽培研修
山村農業実践センター（1年～2年）

就農

私たちがあなたを支えます



大豊トマトの会（仮称）



大豊町



嶺北農業改良普及所



（株）大豊ゆとりファーム

受入農家を含む有機栽培農家を中心とした生産組織。大豊町のトマト農家なら、誰でも入れます。

住居の整備、空き家紹介、ハウス整備事業などが活用できます。他にも様々な相談に応じます。

技術・経営指導を中心に、農業に関わる課題全般に対応します。気軽にご相談ください。

山村農業実践センターで技術指導を担当します。他に、農地斡旋、農機リース、販路も活用できます。



大豊町担い手育成総合支援協議会

関係機関で構成する新規就農支援組織。研修から就農、そして就農後の営農まで、個人に応じた支援を行います。

どうぞ気軽にご連絡ください

問い合わせ先：大豊町担い手育成総合支援協議会事務局（大豊町産業建設課「農業センター」）

高知県長岡郡大豊町黒石 343 番地 1

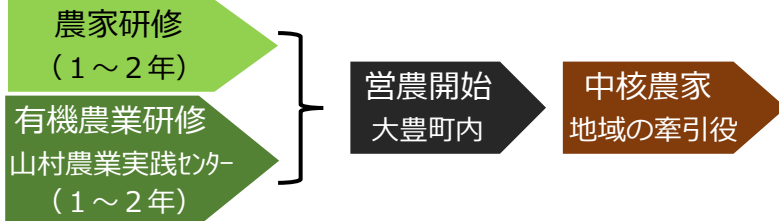
TEL：0887-73-0978

FAX：0887-73-1004

メール：a-mino@town.otoyo.lg.jp

ホームページ <http://otoyo-nogyo.jp/>

大豊町での就農イメージ



大豊町は'90年代頃まではトマト産地として名を馳せていました。しかし、高齢・過疎化により産地は衰退し、以前の栄光も伝説となりました。時は経ち、一人の有機農家が大豊町で就農し、ミニトマトの栽培を始めると、不思議なことに年々若い有機農家が大豊町で就農し、ミニトマトを栽培しています。右の写真には収まり切れません。大豊町のトマトは新たな力を得て復活の兆しが見えてきました。



大豊町で活躍している先輩農家の皆さん

求める人材

- ① 年齢40才以下で大豊町に居住し就農できる方
- ② 地域の担い手として、地域活動に参加できる方
- ③ 手間をかけてでも有機農業を実践しようとする
しっかりとした考えのある方
- ④ 定員2名



※研修中、また就農当初（1年程度）の生活費、初期経費として300万円程度は必要です！
 ※研修受入は「大豊町担い手育成総合支援協議会」による面接選考により決定します。
 ※ご家族で住居を検討されている場合、相談に応じます。

大豊町の概略

- ・四国のほぼ中央にあり、標高200~1,400m。平均450m
年平均気温 約14℃。冬は雪化粧が見られる。
- ・有機栽培農家の就農者数は県内トップクラス
- ・大豊町、本山町、土佐町、大川村4町村で「嶺北地域」
- 総人口 4,252人（H27.10月）
- 65歳以上 2,354人（55.4%）
- 世帯数：2,433世帯 人口密度：13.5人／1平方km
- 小学校数：1校 中学校数：1校
- 医療施設数：3所 歯科診療所数：1所
- H28年度より移住者用住居の整備が始まります

大豊町における有機栽培の推奨品目



例①：ミニトマト5a + ショウガ18a + 冬作ホウレンソウ5a = 所得250万円

※気象条件等により、収量や販売単価は変動があります。上記は就農5年後の目標とする数値です。
 ※希望に応じた体験研修も可能です（期間・内容等）。